

本文	説明
<p><b>2 次の世代を育む</b> <b>(2) 特色ある教育を推進する</b></p> <p><b>1 課題</b> 大きな変化が予想されるこれからの世界において、将来の発展の原動力となる「人財」の育成はますます大きな課題になります。子どもたちが教育を通じて基本的な力を身につけ、地域社会や国際社会の担い手となるよう育てていく必要があります。</p> <p>一方で、急激な都市化、情報化、核家族化の進行や人々のライフスタイルの変化に伴って、家庭や地域の教育力の低下が懸念されます。子どもたちは、家族や教師、地域の人々など、多くの人々と出会い、支えられ、さまざまな影響を受けることにより、人として磨かれ、社会的な存在となっていくことから、社会全体で子どもの成長・発達に関わっていく必要があります。</p> <p><b>2 取り組みの方向性</b></p> <p>(1) 基礎基本の力と豊かな国際性を身につけた子どもの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「確かな学力」「豊かな心」「健康・体力」の基礎基本の定着による、生きるための基盤の形成</li> <li>・特色ある教育を進めるための学習指導基準(①)や、<u>小中学校の指導理念・指導内容等の一貫性を重視したカリキュラム(②)</u>等の推進</li> <li>・国や文化の違いを超えて活動し、多様な人々と協力・共生できる豊かな国際性の育成</li> <li>・防災教育、環境教育、地域学習、<u>キャリア教育(③)</u>、<u>情報教育(④)</u>など特色ある教育の推進</li> </ul> <p>(2) 学校・教職員の力の向上と教育環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員が優れた資質と能力を身につけ、意欲をもって教育に取り組めるための、<u>育成支援や指導力向上支援(⑤)</u></li> <li>・<u>全小中学校の耐震化(⑥)</u>など、子どもたちが安全で安心な学校生活を送っていけるよう必要な教育環境の整備</li> </ul> <p>(3) みんなで子どもの未来を応援するしくみづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての教育の原点である家庭における<u>子育て力の向上支援(⑦)</u></li> <li>・学校から家庭や地域に対する情報発信の強化</li> <li>・<u>家庭・地域・学校の連携を強化(⑧)</u>し、保護者や地域住民等の学校運営への参画や協力促進等を通じた、教育の充実</li> </ul>	<p><b>① 特色ある教育を進めるための学習指導基準</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・充実した教育課程を編成するための学習指導の標準「神戸スタンダード」を、平成21年度中を目途に策定する。</li> <li>・各教科において、児童生徒が身につけておくべき基礎的・基本的な知識・技能、つまづきを防ぎ確実に定着を図るための指導方法等を分かりやすくまとめた「神戸ミニマム」を明示する。</li> </ul> <p><b>② 小中学校の指導理念・指導内容等の一貫性を重視したカリキュラム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「小中一貫カリキュラム」の導入により、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間において、「義務教育9年間で子どもを育てる」という視点を大切にする。</li> <li>・学習指導面での小中連携のいっそうの推進を図るために、「小中連携教育研究会」や「小中連携教育モデル地区」による実践研究を進め、また小中一貫英語教育などを推進する。 (平成21年度：全市で18小学校・11中学校が小中連携モデル地区に指定されている)</li> </ul> <p><b>③ キャリア教育</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勤労観、職業観を養うために小中高の発達段階に応じた体系的なキャリア教育の推進、芸術・スポーツなどの「その道の達人」を講師に招いた体験講座、「大人・親の働く姿を見せる運動」など。</li> </ul> <p><b>④ 情報教育</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータや情報ネットワークを主体的に活用する知識や技術を身につけるとともに、メールやインターネット上での誹謗中傷やいじめ、ネット犯罪や有害情報から身を守る「情報モラル教育」も実施。</li> </ul> <p><b>⑤ 教員への育成支援、指導力向上支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・OJTガイドラインの作成・配布や、教科指導等に優れた教員OB（スーパーアドバイザー）による若手教員への指導力の向上、「授業づくり支援室」や「神戸教師塾」等の充実を図る。</li> </ul> <p><b>⑥ 小中学校の耐震化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成21年4月時点の耐震化率は78.7%で、12大都市中8位。（名古屋市、仙台市はほぼ100%）。今後とも可能な限り前倒しして、平成26年度には100%を目指す。</li> </ul> <p><b>⑦ 家庭における子育て力の向上支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PTAや学校等による「子育て・親育ち講座」や、「家族が熱い一週間」など、保護者が家庭教育の役割について考える機会を積極的につくる。</li> </ul> <p><b>⑧ 家庭・地域・学校の連携強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭・地域・学校の連携をさらに進めるために、「教育・地域連携センター」を設置し、学校のニーズに応じた支援人材の発掘・登録・育成、人材派遣等を行う。また、同センター等を拠点として、退職教員の知識・技能を、学校支援や若手教員の育成、子どもの健全育成等に活用する。</li> </ul>

めざす将来の姿（事務局仮案）

・「人は人によって人になる」という理念のもと、「心豊かにたくましく生きる人間」という子ども像を掲げ、子どもたちが夢をもち、自ら学び自ら考え、目標に向かってたくましく生きていくことができる力と、そのために必要な基礎基本の力（「確かな学力」「豊かな心」「健康・体力」）を身につけていくこと、そして地域社会や国際社会の担い手として、互いに人権を尊重し、ともに助け合いながら未来を切り拓いていく力を備えていくことをめざす。

・社会全体で子どもの成長・発達にかかわっていくことで、子どもたちが人として磨かれ、社会的な存在となっていくことをめざす。

本文	説明
<p><b>3 暮らしに安全と安心をもたらす</b> <b>(3) 生きがいのある暮らしをすすめる</b></p> <p><b>1 課題</b> 生きがいをもってらせる社会の実現のため、市民の生涯学習の機会や身近にスポーツに親しむ機会のさらなる充実や、市民文化の裾野を広げて、芸術文化活動を行う主体をつなぎ合わせ、互いに高めあうことのできる人的ネットワークを広げることが必要になります。</p> <p><b>2 取り組みの方向性</b></p> <p>(1) スポーツの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「する」「みる」「ささえる」スポーツの振興(①)による、市民がいつでも誰でもスポーツに参加でき健康づくりができるまちの実現</li> <li>・地域のだれもが気軽にスポーツに親しめる機会や、ボランティアとしてスポーツを支える機会の充実</li> </ul> <p>(2) 生涯学習の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者や大学等との連携による多様なニーズに応じた学習機会の提供など市民の主体的な生涯学習活動への支援の推進</li> <li>・生涯学習で学んだ成果を地域社会に還元(②)するための人材登録や活動場所の提供等のしくみづくり</li> </ul> <p>(3) 市民の主体的な文化活動への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の主体的な芸術・文化活動の促進に向けた、情報発信や助成制度(③)等による支援</li> <li>・市民がニーズに応じて、芸術・文化活動への参加や体験ができるしくみづくり</li> <li>・学校での公演や博物館・美術館等との連携等を通じ、子どもの頃から芸術・文化を身近に体験できるしくみづくり</li> <li>・地域のさまざまな文化資源や、身近な場(まちかど、商店街、学校、プライベートギャラリー等)などを活用した、地域主体の芸術・文化活動の促進(④)</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p style="text-align: center;"><b>めざす将来の姿(事務局仮案)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が生涯学習やスポーツ、芸術・文化活動等に身近に親しむ機会が充実して、誰もが生きがいをもって、健やかで豊かに暮らせるとともに、そうした活動の成果が地域のまちづくり等に積極的に生かせる社会をめざす。</li> </ul> </div>	<p>①「する」「みる」「ささえる」スポーツの具体的な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「するスポーツ」については、子どもから大人まで地域で身近にスポーツが楽しめる拠点である「神戸総合型地域スポーツクラブ」を充実する。(スポーツクラブ間の交流、指導者の育成、クラブの自立化推進等)</li> <li>・「みるスポーツ」各競技団体等と連携し、国際都市・神戸にふさわしいスポーツイベントの誘致に努める。</li> </ul> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>22年度に卓球世界4大会の1つ「ジャパンオープン萩村杯国際卓球選手権大会」を開催予定。</li> <li>23年度に「アジア陸上競技選手権大会」を開催予定。</li> <li>31年度にラグビーワールドカップの日本開催が決定し、神戸も開催地の1つに予定。</li> </ul> <p>神戸の市街地を中心とした市民マラソンの実現の可能性について調査・検討中。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ささえるスポーツ」については、神戸全日本女子ハーフマラソンにおける沿道の警備、給水、招待選手の誘導等の大会運営に加え、スポーツフェスティバル等における多くの市民によるボランティア活動などを進める。</li> </ul> <p>② 生涯学習の成果の地域社会への還元</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材登録制度や活動場所の提供を進める。</li> <li>・「学校支援地域本部」の様々な活動に生涯学習の成果を活用する。</li> <li>・生涯学習の成果を学校・子どもたちに対する支援に活かすため、「教育・地域連携センター」におけるコーディネート機能を充実する。</li> </ul> <p>③ 情報発信や助成制度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸市HP「神戸の芸術文化のページ」並びに神戸市民文化振興財団HP及び文化情報誌「神戸C情報」等による情報提供の推進、芸術文化活動助成の実施等</li> </ul> <p>④ 地域主体の芸術・文化活動の促進</p> <p>次のような活動に対する支援</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 空き店舗等を活用した芸術・文化活動の場づくり(例:元町高架下商店街の「プラネット EartH」、アスタくにつかの「Art Theater dB 神戸」)</li> <li>2) 学生と地域が連携したアートイベントの展開(例:神戸ビエンナーレ2009の中で展開されている三宮・元町商店街と関西の大学・アートスクールなどが連携して実施するアートプロジェクト)</li> <li>3) アートボランティア活動(例:神戸の芸術文化活動を支援する神戸ARTサポーターズが結成され、シティホールコンサートや美術展のお手伝いなど継続的に活動を展開。また、ビエンナーレをきっかけにアート系NPOとの連携も生まれている。)</li> </ol>

(参考) 協働による教育推進の取り組み事例

(1) 地域との連携

教育版ボランティアセンター 「教育・地域連携センター」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸総合教育センター内に設置。(21年度～)</li> <li>・退職教員や地域・大学・各種団体から、学校のニーズに応じたボランティア人材の発掘・登録・育成、コーディネート等を実施。</li> </ul>
学校支援地域本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内6地区(小学校区又は中学校区)に設置。(20年度～)。今後順次拡大予定。</li> <li>・家庭・地域・学校の連携をいっそう推進して、学習や部活動、環境整備、安全パトロール、学校行事への支援など、地域による学校支援を推進。</li> </ul>
子ども見守り活動隊	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全小学校に設置。</li> <li>・子どもたちの安全確保を図るため、保護者・地域・関係団体等の協力を得て、地域ぐるみの登下校見守り活動を推進。</li> </ul>

(2) 大学との連携

(※協定締結校数は、平成21年7月末現在)

包括協定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・包括協定を、近隣5大学(神戸市外国語大学、関西大学、関西学院大学、立命館大学、甲南大学)と締結し、下記の個別事業等、様々な分野での連携事業を実施。</li> </ul>
スクールサポーター制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員志望の大学生や大学院生を市立小中学校に配置し、多様な教育活動を補助するとともに、教職に向けての資質向上を図る。</li> <li>・実施に係る協定を、30大学と締結。</li> </ul>
学校インターンシップ制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員志望の大学生・大学院生を市立高校に配置し、各種教育活動を補助するもの。</li> <li>・実施に係る協定を、9大学と締結。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学との包括協定や個別協定に基づき、「分かる授業の推進」、「英語活動・英語教育の推進」等を実施。</li> <li>・「神戸っ子のびのびひろば(放課後子ども教室)」や「学校支援地域本部」などの安全指導員・学習ボランティア等として、大学生の参加を拡大。</li> </ul>

(3) 企業・NPO等との連携

子どもたちの職業観・勤労観を育む機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「大人・親の働く姿を見せる運動」として、「子ども参観日」や、「神戸市キャリア教育人材バンク」(企業従業員の学校への派遣)を実施。</li> </ul>
各種教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業やNPO等と連携した出前授業等の推進により、理科・環境・英語・情報教育等を充実。</li> </ul>

「特色ある教育を推進する」 関連資料・データ集

《資料》

- 神戸市教育振興基本計画（概要版）
  
- 特色ある神戸の教育推進アクティブプラン（概要版）

《データ》

1. 学力の定着状況等の概要

- (1) 学力の定着状況 . . . P. 1
- (2) 授業が分かる児童生徒の割合 . . . P. 7

2. 学習への意識、生活実態の状況等

- (1) 19年度 神戸市学力定着度調査（抜粋） . . . P. 8
- (2) 20年度 神戸市学力定着度調査（抜粋） . . . P. 9

3. 「楽しい学校づくり」に向けた取組の概要

- (1) トライやる・ウィークの実施状況 . . . P. 10
- (2) 情報教育の推進 . . . P. 10
- (3) 日本語指導が必要な児童生徒の状況 . . . P. 11
- (4) 中学校の部活動の状況 . . . P. 12
- (5) 市立学校の不登校等の状況 . . . P. 13

4. 児童生徒の体位・体力・運動能力の状況

- (1) 児童生徒の体位 . . . P. 14
- (2) 小学校体力アップ調査 . . . P. 15

5. その他の参考資料

- (1) 小中学校の耐震化率 . . . P. 16
- (2) 小中学校のエレベーター設置校数 . . . P. 16
- (3) 地域での子どもの育成 . . . P. 17

# 1. 学力の定着状況等の概要

## (1) 学力の定着状況

### ① 20年度 全国学力・学習状況調査

・対象学年：小学校6年生・中学校3年生（20年度  
神戸市「全国学力・学習状況調査報告書」より抜粋）

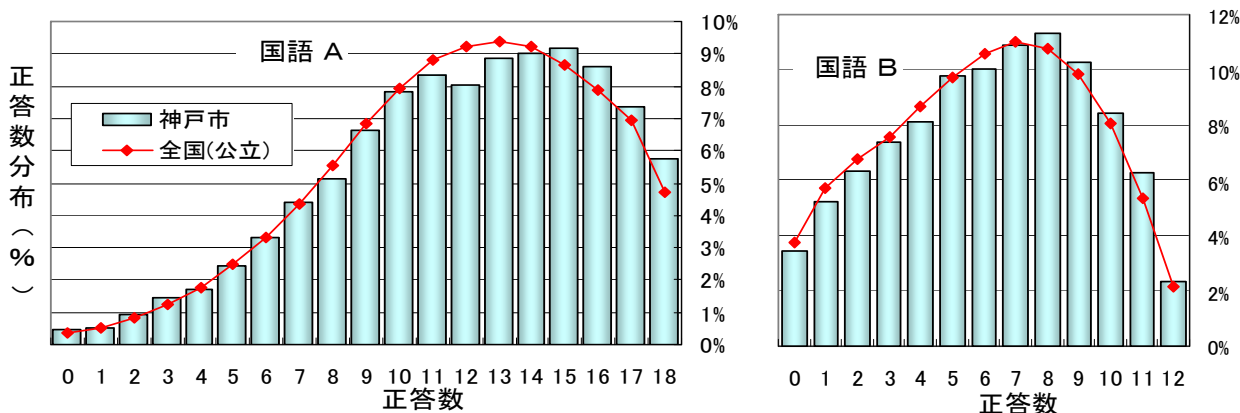
## 1. 小学校国語

### (1) 教科区分全体

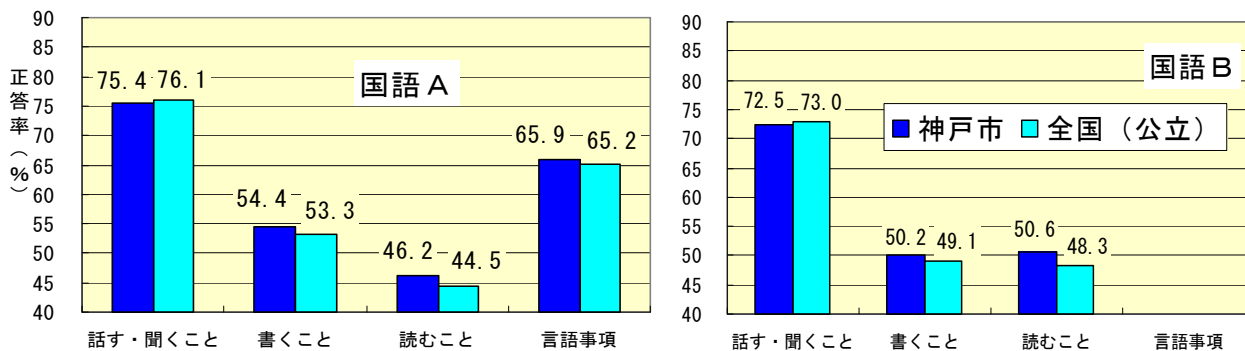
※領域、設問ごとの分析基準～全国平均(公立)との比較において+1ポイント以上を「良好」、-1ポイント以下を「課題がある」、+1～-1ポイントを「同程度」とした

区分	設問数	平均正答率		設問毎の全国との比較（問題数）			(19年度 平均正答率)	
		神戸市	全国（公立）	良好	同程度	課題がある	神戸市	全国（公立）
国語A（知識）	18	66.1%	65.4%	8	6	4	81.7%	81.7%
国語B（活用）	12	51.9%	50.5%	7	4	1	64.0%	62.0%

### (2) 正答数分布状況



### (3) 領域別正答率



### (4) 領域・設問ごとの調査結果と課題

#### 【A問題】

- 全体としては、全国平均と同程度の結果であった。
- 「書くこと」「読むこと」領域～全国平均と比べて良好な結果であり、昨年度に比べて改善が見られた。
- 「言語事項」「話すこと・聞くこと」領域～全国平均と同程度の結果であった。
- 漢字の読み・書き（熟語の読みや同音異義語の使い分け）、文章全体の要旨や組み立てをとらえて評価する、メモにとる、見出しをつける、抜き書きすることなどに課題が見られた。

#### 【B問題】

- 全体としては、全国平均を1.4ポイント上回った。特に「読むこと」領域については、昨年度に比べて改善が見られた。
- B問題全体では、A問題を約14ポイント下回っており、昨年度と同様に、活用する力に課題が見られた。
- 「いくつかの条件を考え合わせて解答を導き出す」設問や「多くの情報の中から適切な情報を選び出し、整理して書く」設問に課題が見られた。
- 「根拠を明らかにして自分の考えを書く」記述式問題は無解答率が高く、課題が見られた。

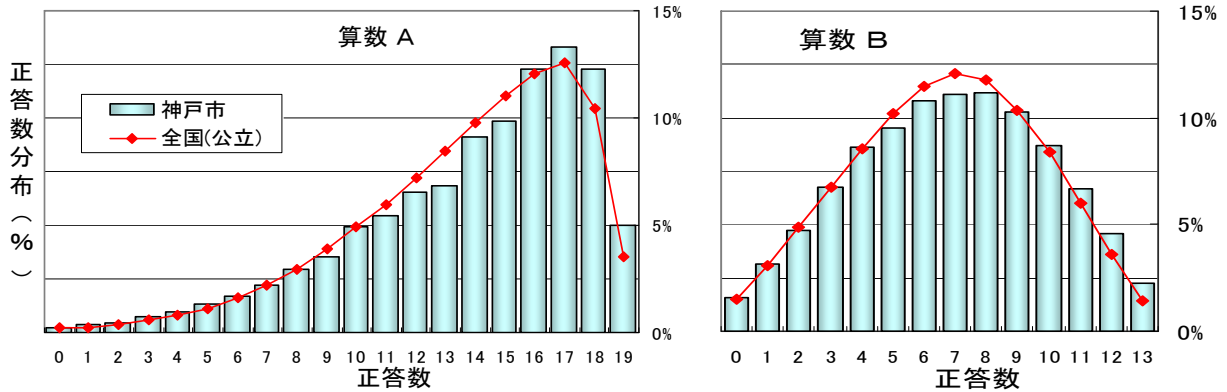
## 2. 小学校算数

※領域、設問ごとの分析基準～全国平均(公立)との比較において+1ポイント以上を「良好」、-1ポイント以下を「課題がある」、+1～-1ポイントを「同程度」とした

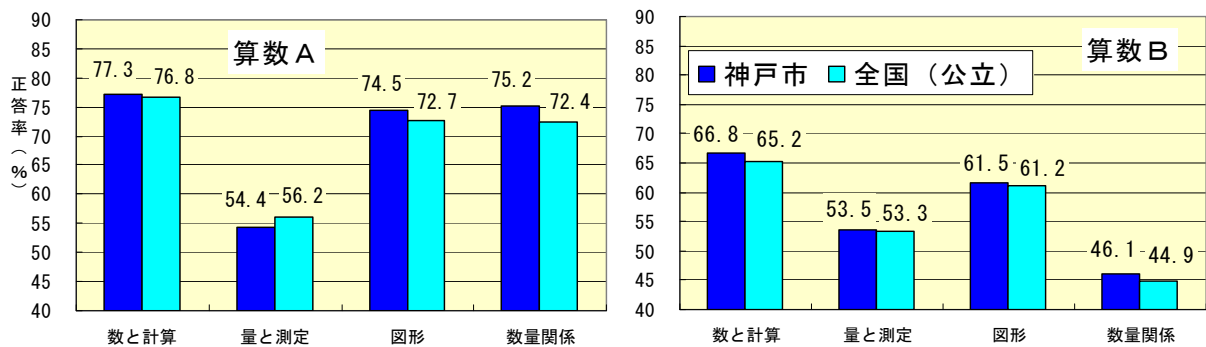
### (1) 教科区分全体

区分	設問数	平均正答率		設問毎の全国との比較(問題数)			(19年度 平均正答率)	
		神戸市	全国(公立)	良好	同程度	課題がある	神戸市	全国(公立)
算数A(知識)	19	72.9%	72.2%	6	9	4	82.1%	82.1%
算数B(活用)	13	52.6%	51.6%	8	3	2	64.3%	63.6%

### (2) 正答数分布状況



### (3) 領域別正答率



### (4) 領域・設問ごとの調査結果と課題

#### 【A問題】

- 「数と計算」領域～全国平均と同程度の結果であったが、「商を分数で表す」「分数と小数の関係」設問については、全国平均を下回り、課題が見られた。
- 「量と測定」領域～全国平均を1.8ポイント下回り、課題が見られた。昨年度と同様に「平行四辺形の面積を求める」設問は、全国平均を5ポイント下回った。
- 「図形」領域～19年度は全国平均を3.9ポイント下回ったが、20年度は全国平均を1.8ポイント上回っており、改善が見られた。しかし、「円周率を求める式に当てはまる言葉を選ぶ」設問では課題が見られた。
- 「数量関係」領域～全国平均を2.8ポイント上回り、良好な結果であった。

#### 【B問題】

- 「数と計算」「数量関係」領域～全国平均を上回り、良好な結果であった。
- 「量と測定」「図形」領域～全国平均と同程度であった。A問題と傾向は類似している。記述式設問の正答率が全国と同様に低かった。
- 「数と計算」領域～3問中2問の正答率は全国平均を上回り、1問は同程度であった。
- 「量と測定」「図形」領域～「三角形から長方形に図形を変えて面積を発展的に考える」設問は、全国平均を下回り、課題が見られた。
- 「数量関係」領域～「棒グラフや円グラフ、折れ線グラフ」に関する設問は、正答率が低く課題が見られた。

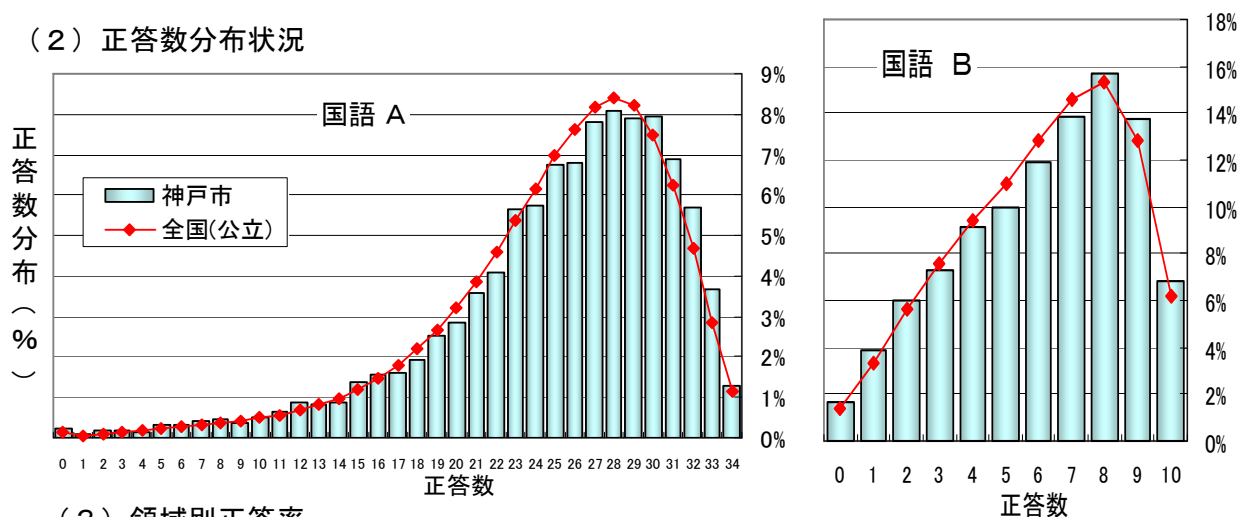
### 3. 中学校国語

※領域、設問ごとの分析基準～全国平均(公立)との比較において+1ポイント以上を「良好」、-1ポイント以下を「課題がある」、+1～-1ポイントを「同程度」とした

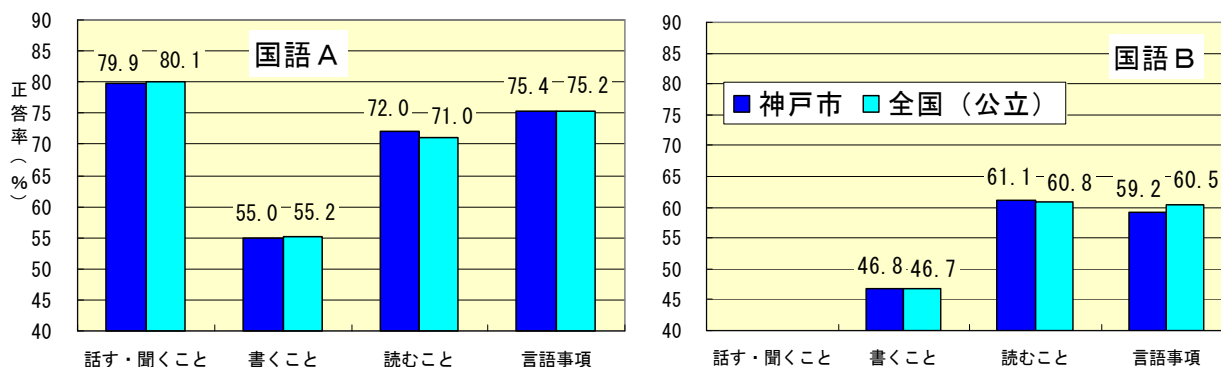
#### (1) 教科区分全体

区分	設問数	平均正答率		設問毎の全国との比較(問題数)			(19年度 平均正答率)	
		神戸市	全国(公立)	良好	同程度	課題がある	神戸市	全国(公立)
国語A(知識)	34	74.0%	73.6%	9	22	3	82.7%	81.6%
国語B(活用)	10	61.1%	60.8%	2	7	1	71.0%	72.0%

#### (2) 正答数分布状況



#### (3) 領域別正答率



#### (4) 領域・設問ごとの調査結果と課題

##### 【A問題】

- 全領域で全国平均と同程度の結果であったが、正答数分布のばらつきは、やや大きかった。
- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」領域～全国平均を若干下回った。
- 「読むこと」「言語事項」領域～全国平均を若干上回ったが、課題の見られた設問があった。
- 「書くこと」領域～正答率が55%前後と低く、昨年同様に課題が見られた。
- 「言語事項」領域～設問によって正答率の差が大きく、語彙の定着にばらつきが見られた。
- 古典では、歴史的仮名遣い(読み)の正答率は高かったが、内容理解に関する設問では全国平均を約3ポイント下回った。

##### 【B問題】

- 「書くこと」「読むこと」領域～全国平均と同程度の結果であった。
- 「言語事項」領域～全国平均を1.3ポイント下回り課題が見られた。
- 昨年度、全国と比べて大きかったA問題とB問題の正答率の差は、全国とほぼ同程度となった。

##### 【共通】

- 問題文や選択枝を最後までよく読んでいないと思われる誤答が多かった。
- 記述式問題だけでなく、選択式や短答式の問題においても全国と比べて無解答率が高かった。



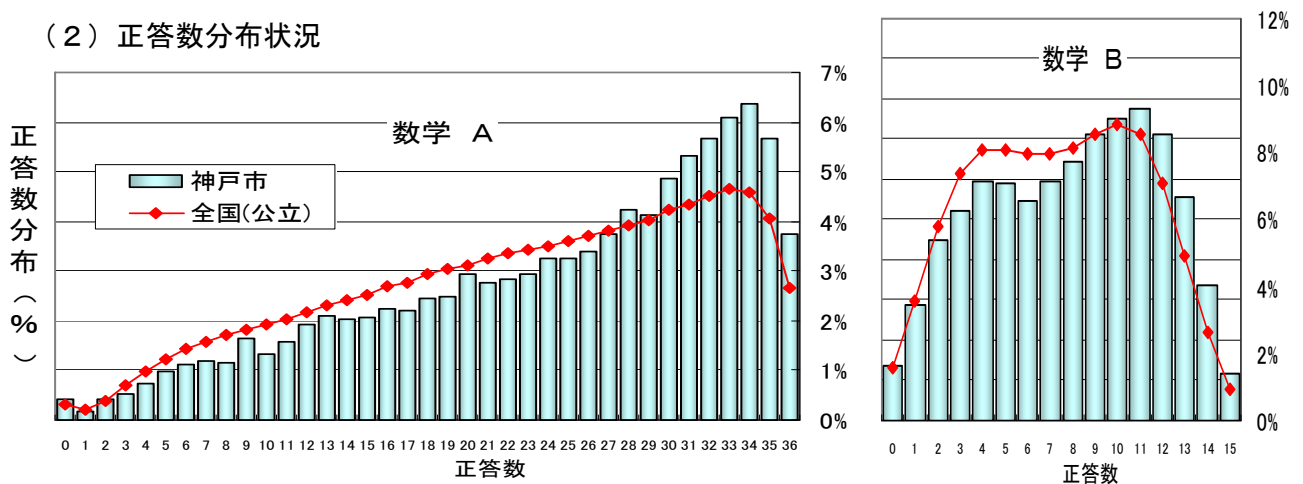
## 4. 中学校数学

※領域、設問ごとの分析基準～全国平均(公立)との比較において+1ポイント以上を「良好」、-1ポイント以下を「課題がある」、+1～-1ポイントを「同程度」とした

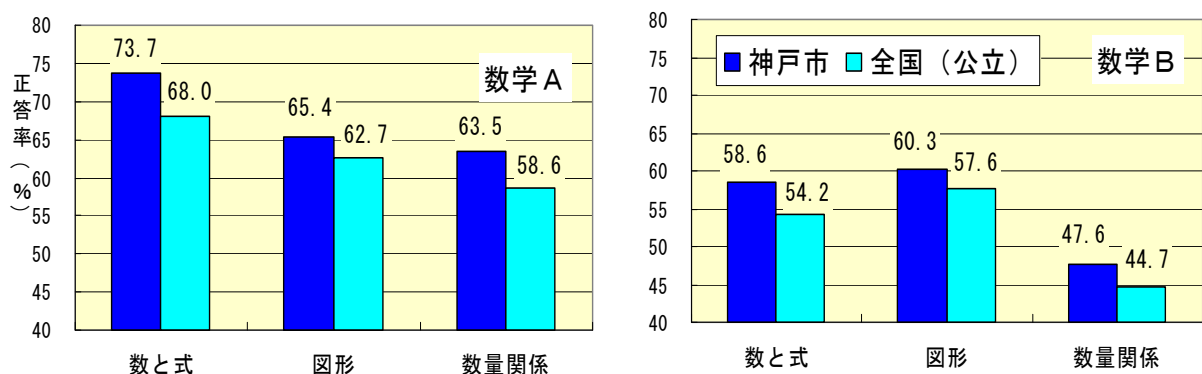
### (1) 教科区分全体

区分	設問数	平均正答率		設問毎の全国との比較(問題数)			(19年度 平均正答率)	
		神戸市	全国(公立)	良好	同程度	課題がある	神戸市	全国(公立)
数学A(知識)	36	67.5%	63.1%	32	4	0	75.8%	71.9%
数学B(活用)	15	52.3%	49.2%	12	3	0	62.9%	60.6%

### (2) 正答数分布状況



### (3) 領域別正答率



### (4) 領域・設問ごとの調査結果と課題

#### 【A問題】

- 「数と式」領域～「文字式の意味を具体的な事象と関連付けてよみとる」設問の正答率は36.6%と低く課題が見られた。
- 「図形」領域～「底面の円と高さが等しい円柱と円錐の体積比」を求める設問の正答率は57.1%であり、昨年度と同内容の設問と比較するとやや改善傾向が見られたが、柱体と錐体の体積比を2:1とする誤答が31.4%あり課題が見られた。
- 「数量関係」領域～「反比例のグラフから式を求める」設問の正答率は45.3%、「一次関数の表から式を求める」設問の正答率は44.5%と低く課題が見られた。

#### 【B問題】

- 「数と式」領域～「事柄が成り立つ理由を文字式を用いて説明する」設問では、与えられた式を適切な形に変形し理由を説明することに課題が見られた。
- 「図形」領域～「2つの線分の長さが等しいことを三角形の合同を利用して証明する」設問の正答率が49.0%と低く、合同を示すのに必要な要素を見いだして証明することに課題が見られた。
- 「数量関係」領域～与えられた情報をよみ、事象を数学的に解釈し事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明することや、事象を理想化・単純化してその特徴を的確にとらえることに課題が見られた。

② 17～19年度 神戸市学力定着度調査

(神戸市教委 指導課)

調査方法・対象学年		調査教科・内容
学力定着度	小学校第5学年 抽出調査(50校)	国語・社会・算数・理科
	中学校第2学年 抽出調査(25校)	国語・社会・数学・理科・英語
質問紙調査	小5児童・中2生徒(抽出調査 同上)	学習に対する意識・生活実態調査

《小学校》各教科・領域別正答率(%)

上段は神戸市平均正答率〔%〕、下段( )は目標正答率〔%〕  
 ※目標正答率：文部科学省「教育課程実施状況調査」等の全国正答率

	年度	各教科	領域別			
			聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項
国語	19	76.0 (76.0)	79.0 (74.9)	57.5 (63.5)	80.1 (82.9)	81.2 (80.0)
	18	74.7 (78.7)	84.1 (89.2)	70.9 (74.1)	53.2 (64.1)	79.4 (80.9)
	17	78.4 (78.0)	88.1 (89.2)	80.6 (79.0)	65.0 (66.8)	79.3 (77.5)

	年度	各教科	日本の自然	日本の国土	日本の農業	日本の水産業
社会	19	72.1 (70.3)	69.9 (60.9)	89.7 (86.9)	63.4 (64.1)	70.3 (71.5)
	18	73.1 (73.2)	66.6 (60.9)	85.4 (81.3)	72.3 (78.7)	71.7 (72.4)
	17	74.2 (68.1)	71.0 (60.1)	日本の工業 80.4 (82.0)	73.2 (71.1)	78.8 (74.5)

	年度	各教科	数と計算	量と測定	図形	数量関係
算数	19	74.7 (74.7)	72.5 (73.6)	83.3 (78.7)	71.8 (74.4)	80.7 (76.4)
	18	71.5 (73.5)	73.9 (75.2)	81.2 (78.7)	57.8 (69.8)	74.4 (71.3)
	17	76.9 (74.8)	79.9 (79.0)	73.6 (67.3)	67.2 (71.1)	83.2 (76.4)

	年度	各教科	生物とその環境	地球と宇宙	物質とエネルギー
理科	19	68.5 (73.2)	75.3 (73.8)	65.5 (64.6)	56.8 (75.4)
	18	78.1 (79.6)	78.7 (80.5)	74.9 (75.8)	—
	17	69.6 (70.9)	72.9 (75.6)	66.4 (63.4)	65.5 (67.1)

《中学校》 各教科・領域別正答率（％）

上段は神戸市平均正答率〔％〕、下段（ ）は目標正答率〔％〕

	年度	各教科	領 域 別			
			聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項
国 語	19	60.6 (61.3)	58.9 (58.8)	60.4 (61.1)	56.9 (63.2)	65.5 (60.3)
	18	60.3 (58.2)	56.9 (58.8)	67.2 (69.8)	56.4 (55.2)	62.7 (55.3)
	17	63.8 (60.8)	60.2 市独自問題を使用	58.6 (58.9)	62.5 (60.7)	67.1 (61.4)

	年度	各教科	地理	歴史
社 会	19	60.8 (59.8)	60.2 (58.4)	61.3 (61.1)
	18	56.9 (58.6)	59.2 (59.7)	54.6 (57.4)
	17	63.5 (62.1)	63.7 (62.5)	63.3 (61.7)

	年度	各教科	数と式	図形	数量関係
数 学	19	69.1 (63.4)	73.4 (69.2)	59.4 (51.1)	65.9 (58.8)
	18	63.0 (58.2)	67.6 (61.4)	61.0 (63.4)	56.5 (49.3)
	17	66.7 (60.9)	67.8 (61.3)	65.2 (61.3)	66.3 (59.5)

	年度	各教科	第1分野（物理・化学分野）	第2分野（生物・地学分野）
理 科	19	65.5 (63.0)	64.6 (62.6)	66.4 (63.4)
	18	59.4 (59.9)	61.2 (62.0)	58.0 (58.2)
	17	59.1 (61.1)	59.8 (62.3)	58.3 (59.6)

	年度	各教科	聞く	読む	書く
英 語	19	61.6 (60.5)	73.0 (74.1)	60.5 (60.3)	46.8 (41.3)
	18	62.5 (62.7)	70.2 (73.0)	58.4 (59.6)	56.6 (50.8)
	17	64.7 (63.1)	73.1 (72.6)	64.8 (60.1)	52.6 (54.0)

## (2) 授業が分かる児童生徒の割合

(平成15～19年度 神戸市学力定着度調査)

「分かる授業推進プラン」の展開にあたり、「神戸2010ビジョン」における「チャレンジ指標」(目標値)として、『学校の授業が分かる子どもたちの割合』を小学校では90%、中学校では80%以上、「基礎教科である『国語、算数・数学の授業が分かる子どもたちの割合』を16年度実績値から5%アップ」を掲げている。目標年次は平成22年度。数字はいずれも、小学5年生、中学2年生を対象とした神戸市学力定着度調査(質問紙調査)の「授業がよく分かる」「だいたい分かる」の合計

### ① 設問「学校の授業がどの程度わかりますか？」に対する回答(小学5年生・中学2年生)

	よく分かる	だいたい分かる	分からないことが多い	ほとんど分からない	※学校の授業が分かる児童生徒	目標値(2010ビジョン)
19年度小5	34.0%	55.6%	9.3%	1.0%	89.6%	90%以上
18年度小5	31.4%	58.9%	8.0%	1.5%	90.3%	
17年度小5	30.5%	59.5%	7.9%	2.0%	90.0%	
16年度小5	29.2%	59.0%	9.5%	1.8%	88.2%	
15年度小5	29.5%	61.1%	7.4%	1.7%	90.6%	
19年度中2	12.6%	61.8%	21.3%	4.2%	74.4%	80%以上
18年度中2	11.8%	62.7%	23.6%	1.9%	74.5%	
17年度中2	8.7%	62.1%	24.4%	4.8%	70.8%	
16年度中2	11.5%	64.7%	19.5%	4.0%	76.2%	
15年度中2	9.2%	63.6%	22.9%	4.1%	72.8%	

※「学校の授業が分かる児童生徒」の割合は、「よく分かる」「だいたい分かる」と答えた割合の合計

### ② 設問「国語、算数の授業がどの程度わかりますか？」に対する回答(小学5年生)

	年度	よく分かる	だいたい分かる	半分程度分かる	分からないことが多い	ほとんど分からない	※授業が分かる児童	目標値(2010ビジョン)
国語	19年度	38.2%	44.4%	14.2%	2.1%	1.0%	82.6%	86.0%
	18年度	37.8%	46.3%	12.8%	1.9%	0.9%	84.1%	
	17年度	34.7%	48.9%	13.1%	2.0%	1.1%	83.6%	
	16年度	31.9%	49.1%	14.2%	2.9%	1.7%	81.0%	
算数	19年度	46.3%	31.9%	14.5%	5.7%	1.6%	78.2%	81.6%
	18年度	41.8%	35.4%	15.2%	4.8%	2.5%	77.2%	
	17年度	39.7%	38.3%	15.6%	4.5%	1.7%	78.0%	
	16年度	37.9%	38.7%	14.6%	5.9%	2.3%	76.5%	

※「国語、算数の授業が分かる児童」の割合は、「よく分かる」「だいたい分かる」と答えた割合の合計

### ③ 設問「国語、数学の授業がどの程度わかりますか？」に対する回答(中学2年生)

	年度	よく分かる	だいたい分かる	半分程度分かる	分からないことが多い	ほとんど分からない	※授業が分かる生徒	目標値(2010ビジョン)
国語	19年度	16.2%	50.6%	24.4%	6.2%	2.2%	66.8%	69.3%
	18年度	14.1%	48.9%	26.4%	7.8%	2.6%	63.0%	
	17年度	12.0%	45.5%	30.3%	8.6%	3.6%	57.5%	
	16年度	14.5%	49.8%	26.3%	6.9%	2.3%	64.3%	
数学	19年度	22.4%	36.3%	21.3%	11.2%	8.5%	58.6%	60.4%
	18年度	22.2%	36.9%	22.5%	12.7%	5.5%	59.1%	
	17年度	19.5%	33.1%	25.1%	15.1%	7.1%	52.6%	
	16年度	19.6%	35.8%	25.0%	13.6%	5.6%	55.4%	

国語、数学の授業が分かる生徒の割合は、「よく分かる」「だいたい分かる」と答えた割合の合計

## 2. 学習への意識、生活実態の状況等

(1) 「19年度 神戸市学力定着度調査 生徒質問紙調査報告書」より抜粋

※対象：小学校5年生・中学校2年生、抽出調査(小学校50校、中学校25校)

調査項目	年度	小学校 第5学年 (%)	中学校 第2学年 (%)
①「学校が好きだ。」 (「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計)	19	82.9	73.6
	18	82.8	74.7
	17	81.7	72.9
	16	77.4	70.6
	15	81.0	72.4
②「勉強が好きだ。」 (「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計)	19	53.4	17.2
	18	52.7	20.7
	17	49.3	19.0
	16	45.7	15.8
	15	47.9	16.8
③「勉強は大切だ。」 (「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計)	19	94.3	90.4
	18	92.5	90.5
	17	94.1	89.2
	16	91.2	86.0
	15	92.5	86.9
④「学校の授業が分かる。」 (「よく分かる」「だいたい分かる」の合計)	19	89.6	74.4
	18	90.3	74.5
	17	90.0	70.8
	16	88.2	76.2
	15	90.6	72.8
「国語の授業が分かる。」 (「よく分かる」「だいたい分かる」の合計)	19	82.6	66.8
	18	84.1	63.0
	17	83.6	57.5
	16	81.0	64.3
	15	—	—
「算数・数学の授業が分かる。」 (「よく分かる」「だいたい分かる」の合計)	19	78.2	58.7
	18	77.3	59.1
	17	78.0	52.6
	16	76.6	55.4
	15	—	—
⑤「1日家庭で1時間以上勉強する。」(学習塾などを除く。)	19	36.4	25.7
	18	32.4	24.5
	17	38.3	23.5
	16	30.7	23.5
	15	31.2	21.7
「1日家庭でほとんど勉強しない。」	19	7.3	27.5
	18	7.2	28.7
	17	6.1	27.2
	16	7.6	25.3
	15	5.9	34.4
⑥「学校に行く前に朝食を必ず食べる。」	19	83.7	74.1
	18	81.1	72.3
	17	77.5	71.6
	16	78.1	71.0
	15	74.8	68.7
⑦「1日に3時間以上テレビを見る。」	19	26.5	22.6
	18	28.3	26.3
	17	29.4	30.1
	16	33.9	25.6
	15	31.2	31.7
⑧「1ヶ月にほとんど本を読まない。」	19	26.4	40.8
	18	29.6	43.2
	17	29.2	38.5
	16	29.6	40.0
	15	27.3	39.7
⑨「毎日の睡眠時間が7時間未満である。」(小学校) 「毎日の睡眠時間が6時間未満である。」(中学校)	19	18.1	21.5
	18	18.4	23.2
	17	20.5	20.9
	16	17.6	21.2
	15	17.2	19.7

(2)「20年度 全国学力・学習状況調査報告書」より抜粋 ( )内は全国平均(%)

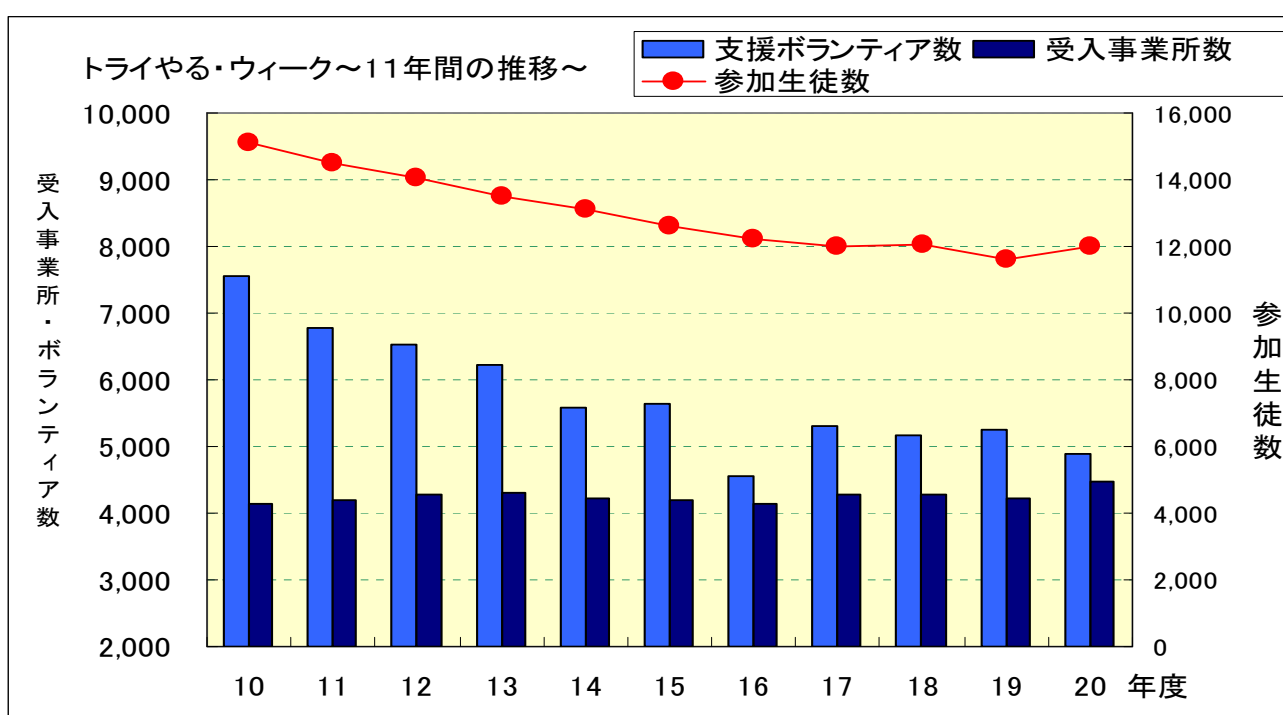
内 容	小学校 第6学年(%)	中学校 第3学年(%)
① 「国語」の授業の内容はよくわかりますか？ (「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合)	79.5 (78.0)	68.8 (66.8)
② 「算数・数学」の授業の内容はよくわかりますか？ (同上)	77.3 (78.4)	64.3 (65.5)
③ 「国語」の授業で自分の考えを書くと、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか？ (同上)	66.9 (67.1)	51.3 (55.5)
④ 「国語」の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか？ (同上)	72.1 (71.9)	59.6 (61.5)
⑤ 算数・数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか？ (同上)	75.2 (76.0)	63.6 (63.6)
⑥ 算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけ・根拠を理解するようにしていますか？ (同上)	76.1 (78.4)	61.9 (65.5)
⑦ 学校の授業以外で、普段どれくらいの時間、勉強をしますか？ (「30分未満」「全くしない」と答えた割合)	15.5 (17.5)	17.2 (17.9)
⑧ 家で学校の宿題をしますか？ (「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合)	96.9 (95.2)	81.5 (81.4)
⑨ 家や図書館で、普段(月～金)1日にどれくらいの時間読書をしていますか？ (「全く読まない」と答えた割合)	22.0 (20.4)	41.9 (37.9)
⑩ 学習塾で勉強をしていますか？ (「塾に通っている」と答えた割合)	59.9 (48.2)	75.3 (63.6)
⑪ 朝食を毎日食べていますか？ (「毎日食べている。」と答えた割合)	85.3 (87.1)	78.8 (81.1)
⑫ 普段、1日にどれくらいの時間、睡眠を取ることが多いですか？ (平日1日あたり、「7時間未満」と答えた割合)	11.1 ( 8.8)	43.6 (39.2)
⑬ 学校への持ちものを前日かその日の朝に確かめていますか？ (「している」「どちらかといえばしている」と答えた割合)	85.8 (85.3)	83.5 (83.3)
⑭ 家の人と学校での出来事について話をしていますか？ (「している」「どちらかといえばしている」と答えた割合)	68.7 (69.2)	59.0 (57.9)
⑮ 携帯電話で通話やメールをしていますか？ (「ほぼ毎日している」「時々している」と答えた割合)	32.5 (25.3)	58.7 (57.1)
(携帯電話を持っている児童生徒の割合)	38.6 (31.2)	63.0 (61.8)
⑯ 新聞やテレビのニュースなどに関心がありますか？ (「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合)	64.0 (66.1)	62.6 (64.1)
⑰ 今住んでいる地域の行事に参加していますか？ (同上)	45.7 (59.9)	28.8 (37.0)
⑱ 学校のきまり・規則を守っていますか？ (同上)	86.6 (86.3)	88.4 (87.4)
⑲ 人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか？ (同上)	92.4 (91.9)	92.4 (92.5)
⑳ 自分には良いところがあると思いますか？ (同上)	74.5 (73.4)	59.9 (60.8)
㉑ 近所の人に会ったときはあいさつをしていますか？ (同上)	87.7 (88.7)	83.0 (82.7)

### 3. 「楽しい学校づくり」に向けた取組の概要

#### (1) トライやる・ウィークの実施状況

(神戸市教委 指導課調査)

	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
支援ボランティア数	7,557	6,772	6,538	6,220	5,590	5,643	4,546	5,318	5,176	5,258	4,899
受入事業所数	4,129	4,188	4,264	4,303	4,224	4,187	4,146	4,279	4,282	4,223	4,403
参加生徒数	15,127	14,481	14,060	13,512	13,106	12,595	12,209	12,004	12,031	11,636	11,981



#### (2) 情報教育の推進

##### ① 教育用コンピュータの整備状況（19年度末現在）

・コンピュータ1台あたりの児童生徒数 8.1人/台（全国平均 7.3人/台）

##### ② 普通教室のLANの整備状況

・神戸市：100%（15年度末整備完了）

##### ③ 「授業中にICTを活用して指導する能力を有する教員」の割合

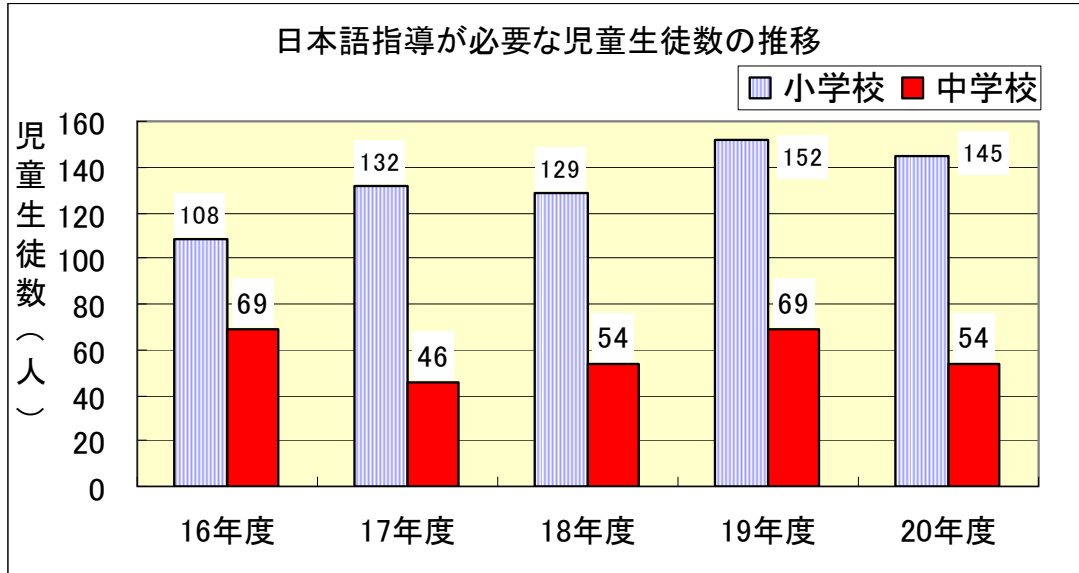
・神戸市：43.8%（全国平均：52.6%）

（文部科学省「情報教育実態調査」 20年3月現在）

(3) 日本語指導が必要な児童生徒の状況

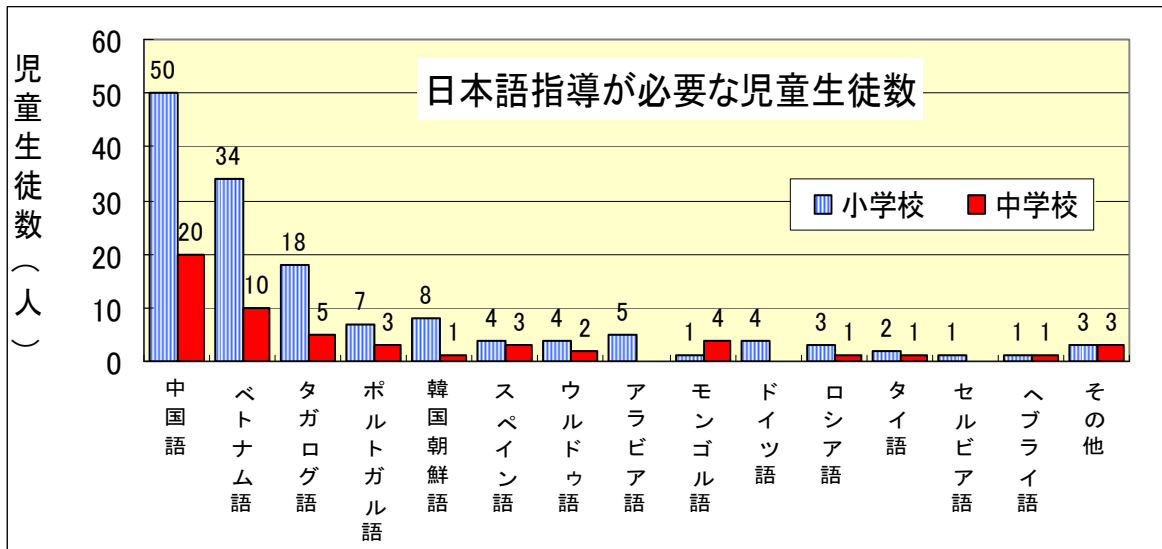
① 日本語指導が必要な児童生徒数の推移

(5月1日現在 神戸市教委指導課調査)



② 日本語指導が必要な言語別児童生徒数

(20年5月1日現在 神戸市教委 指導課調査)



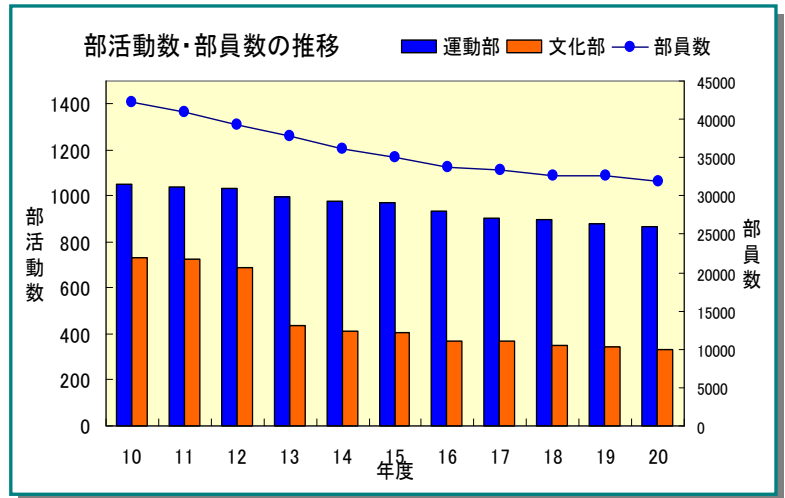


(4) 中学校の部活動の状況

(神戸市教委 スポーツ体育課調査)

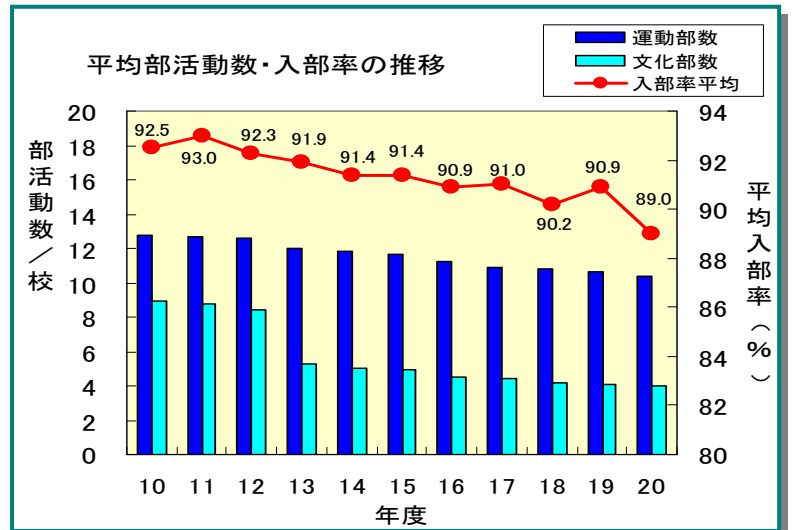
① 部活動の総数・部員数の推移 (神戸市全体)

	運動部数	文化部数	部員数
20年度	867	330	31,864
19年度	880	344	32,678
18年度	896	349	32,697
17年度	903	366	33,432
16年度	932	371	33,784
15年度	969	404	35,085
14年度	979	413	36,221
13年度	993	439	37,814
12年度	1,030	688	39,208
11年度	1,041	724	40,959



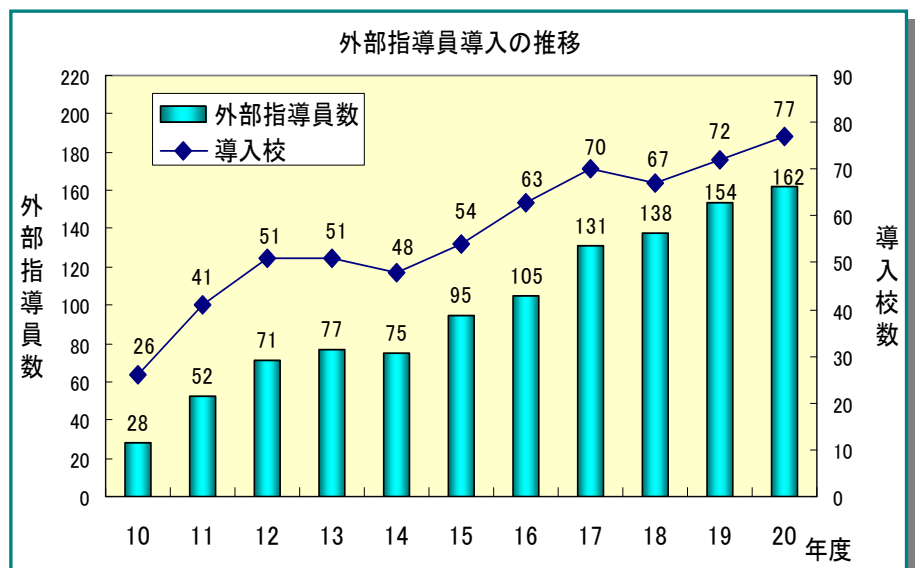
② 1校当たりの部活動数、平均入部率 (運動部と文化部の合計)

	運動部数 (1校当たり)	文化部数 (1校当たり)	平均入部率 (%)
20年度	10.4	4.0	89.0
19年度	10.6	4.1	90.9
18年度	10.8	4.2	90.2
17年度	10.9	4.4	91.0
16年度	11.2	4.5	90.9
15年度	11.7	4.9	91.4
14年度	11.8	5.0	91.4
13年度	12.0	5.3	91.9
12年度	12.6	8.4	92.3
11年度	12.7	8.8	93.0



③ 部活動外部指導員数・導入校数の推移

	外部指導員数	導入校数
20年度	162	77
19年度	155	72
18年度	138	67
17年度	131	70
16年度	105	63
15年度	95	54
14年度	75	48
13年度	77	51
12年度	71	51
11年度	52	41



## (5) 市立学校の不登校等の状況

(文部科学省「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」より)

### ① 不登校の状況

(小学校)

項目／年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
人数	230	214	206	204	169	170
発生率	0.29%	0.27%	0.26%	0.26%	0.21%	0.21%

(中学校)

項目／年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
人数	1295	1323	1267	1209	1144	1131
発生率	3.3%	3.5%	3.4%	3.3%	3.2%	3.1%

### ② いじめの状況

(小学校)

項目／年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
件数	79	125	93	73	234	181
一校あたりの発生件数	0.46	0.74	0.55	0.43	1.38	1.07

(中学校)

項目／年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
件数	335	368	245	209	396	256
一校あたりの発生件数	4.04	4.43	2.95	2.52	4.77	3.08

※1 「いじめの定義」が平成18年度の調査から、以下のように変更された。

「いじめ」とは、「当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

(注1)「一定の人間関係にある者」とは、学校の内外を問わず、例えば、同じ学校・学級や部活動の者、当該児童生徒が関わっている仲間や集団(グループ)など、当該児童生徒と何らかの人間関係のある者を指す。

(注2)「攻撃」とは、「仲間はずれ」や「集団による無視」など直接的にかかわるものでないが、心理的な圧迫などで相手に苦痛を与えるものも含む。

(注3)「物理的な攻撃」とは身体的な攻撃の他、金品をたかられたり、隠されたりすることなどを意味する。

(注4)けんか等を除く。

### ③ 問題行動の状況

(小学校)

項目／年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
対教師暴力反抗	12	6	35	28	41	70
生徒間暴力	27	46	40	35	48	461
対人暴力	2	0	1	0	1	4
器物破損	12	35	31	37	50	72
暴力行為(合計)	53	87	107	100	140	607

(中学校)

項目／年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
対教師暴力反抗	227	209	172	134	221	236
生徒間暴力	284	290	231	226	206	850
対人暴力	17	13	16	16	10	44
器物破損	406	466	449	460	407	599
暴力行為(合計)	934	978	868	836	844	1729

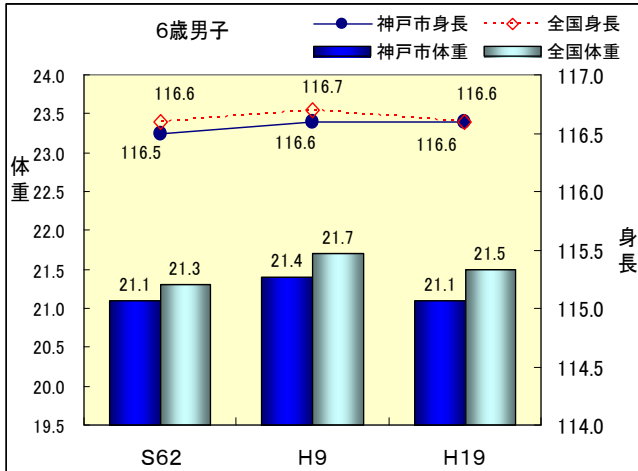
※2 暴力行為は、平成19年度から、それまで「けんか」や「軽微なもの」として暴力行為に含めていなかったものをカウントするようになった。

## 4. 児童生徒の体位・体力・運動能力の状況

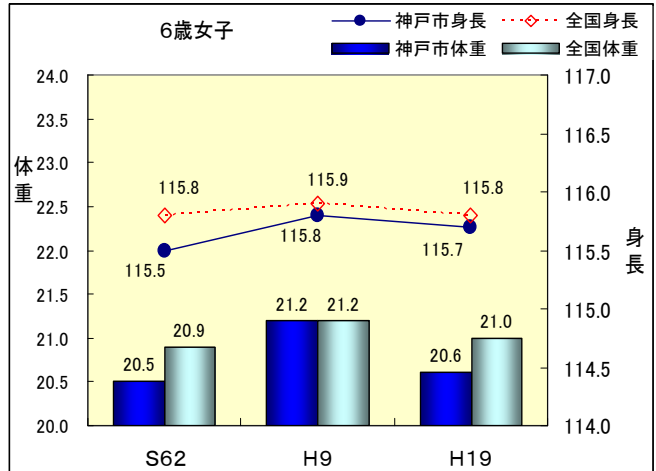
(1) 児童生徒の体位 ～神戸市と全国との比較～ (平成 19 年、平成 9 年、昭和 62 年)

(文部科学省「平成 19 年度学校保健統計調査」より)

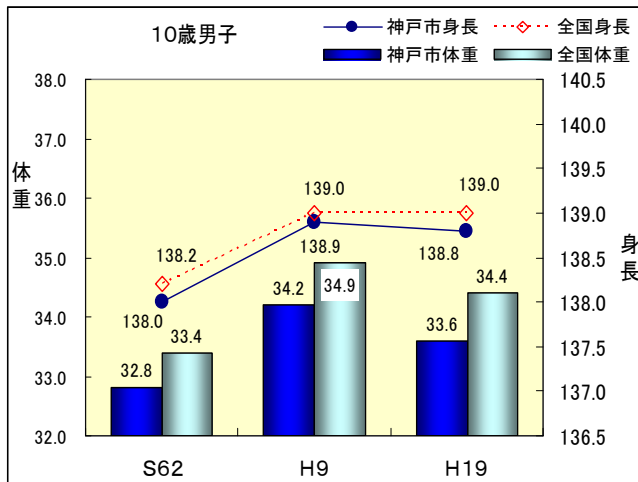
① 6歳男子



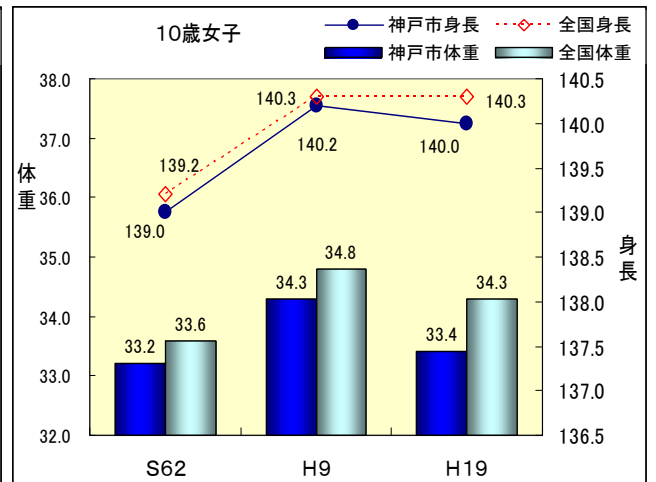
② 6歳女子



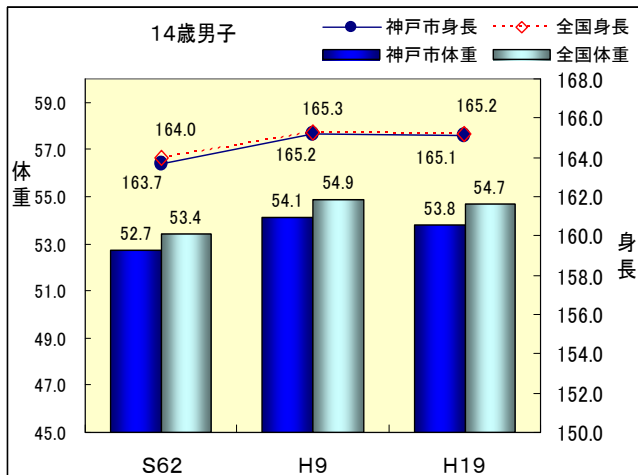
③ 10歳男子



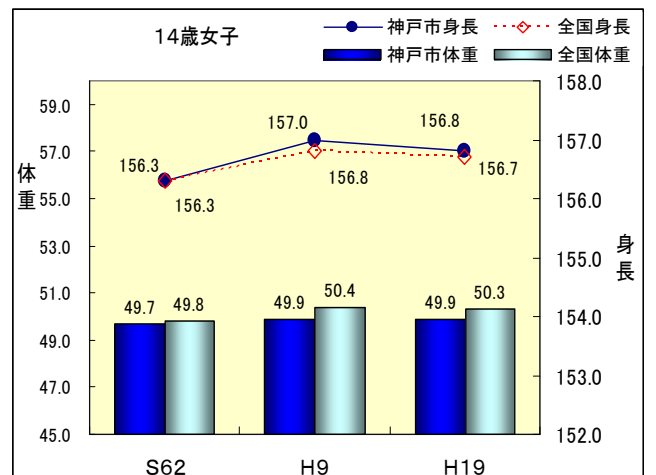
④ 10歳女子



⑤ 14歳男子



⑥ 14歳女子



(2) 小学校体力アップ調査 ～経年比較と目標値達成状況～

目標値：昭和60年代の記録と平成13年度の神戸市の記録をもとに、低下分の1/2を回復する。

目標年度は平成19年度。

(文部科学省「体力・運動能力調査」より)

	小6男	50m走	立ち幅跳び	ソフトボール投げ	小6女	50m走	立ち幅跳び	ソフトボール投げ
神戸市	昭和60年代	8.92秒	167.6cm	33.0m	昭和60年代	9.21秒	153.9cm	18.1m
	平成13年度	9.06	165.1	29.7	平成13年度	9.33	153.4	15.9
	19年度目標	8.99	166.4	31.4	19年度目標	9.27	153.7	17.0
全国	昭和60年代	8.60	168.9(12)	34.0	昭和60年代	8.91	156.6(11)	20.5
	平成13年度	9.03	166.3	29.9	平成13年度	9.26	155.0	17.3
	平成18年度	8.89	165.1	29.5	平成18年度	9.22	155.4	17.2
実績	14年度	9.07	○167.0	30.6	14年度	9.35	151.5	15.6
	15年度	○8.98	○167.5	29.7	15年度	9.32	151.8	15.3
	16年度	9.02	163.5	29.3	16年度	9.30	151.6	16.0
	17年度	○8.99	164.7	28.9	17年度	○9.26	153.3	16.6
	18年度	9.07	164.7	29.7	18年度	9.37	152.6	15.8
	19年度	○8.98	164.7	30.6	19年度	9.33	153.2	16.1

	小5男	50m走	立ち幅跳び	ソフトボール投げ	小5女	50m走	立ち幅跳び	ソフトボール投げ
神戸市	昭和60年代	9.20秒	155.3cm	28.6m	昭和60年代	9.34秒	147.1cm	16.5m
	平成13年度	9.45	155.4	25.9	平成13年度	9.75	144.5	13.5
	19年度目標	9.32	155.4	27.3	19年度目標	9.54	145.8	15.0
全国	昭和60年代	8.93	157.0(13)	29.9	昭和60年代	9.21	149.1(11)	17.7
	平成13年度	9.36	156.4	26.3	平成13年度	9.59	146.9	15.1
	平成18年度	9.33	156.2	26.2	平成18年度	9.58	147.8	15.2
	平成20年度	9.40	154.0	25.4	平成20年度	9.60	145.7	14.9
実績	14年度	9.33	154.9	25.9	14年度	9.64	143.2	13.8
	15年度	9.38	154.4	25.6	15年度	9.58	143.2	13.5
	16年度	9.41	153.8	25.1	16年度	9.61	144.5	13.9
	17年度	9.34	153.6	25.3	17年度	9.64	142.7	14.0
	18年度	○9.26	150.9	26.1	18年度	9.67	143.4	14.3
	19年度	9.35	152.3	26.2	19年度	9.57	142.1	14.2
	20年度	9.30	154.3	25.8	20年度	9.60	143.9	14.4

	小4男	50m走	立ち幅跳び	ソフトボール投げ	小4女	50m走	立ち幅跳び	ソフトボール投げ
神戸市	昭和60年代	9.44秒	149.8cm	24.8m	昭和60年代	9.71秒	140.3cm	13.1m
	平成13年度	9.85	143.5	21.8	平成13年度	10.15	132.9	11.9
	19年度目標	9.64	146.7	23.3	19年度目標	9.93	136.6	12.5
全国	昭和60年代	9.28	160.4	25.1	昭和60年代	9.62	151.1	14.2
	平成13年度	9.84	146.9	21.5	平成13年度	10.04	138.0	12.7
	平成18年度	9.67	146.6	21.9	平成18年度	9.98	138.2	12.8
実績	14年度	9.80	142.9	21.2	14年度	10.08	131.7	11.7
	15年度	9.83	142.3	21.3	15年度	9.98	133.3	11.5
	16年度	9.79	142.8	20.9	16年度	10.09	132.5	11.2
	17年度	9.84	145.2	22.1	17年度	10.06	○137.1	11.6
	18年度	9.88	141.3	21.0	18年度	10.19	131.8	11.9
	19年度	9.77	142.3	22.1	19年度	10.12	132.7	12.1

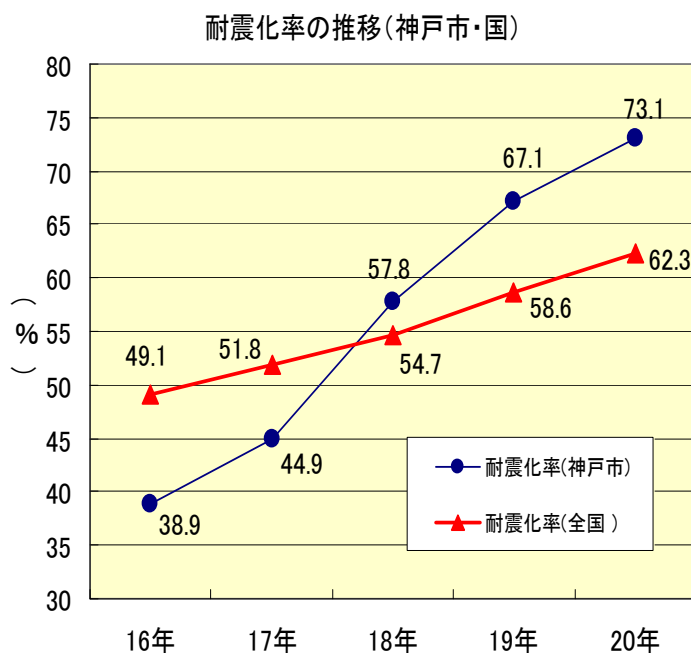
○は、19年度の目標を達成した項目

・実績値は、抽出校の新体力テストデータ。神小研体育部調査領域「研究のあしあと」より

## 5. その他の参考資料

### ①小中学校の耐震化率の推移（神戸市教委 学校整備課）

	耐震化率(%)	
	神戸市平均	全国平均
20年4月	73.1	62.3
19年4月	67.1	58.6
18年4月	57.8	54.7
17年4月	44.9	51.8
16年4月	38.9	49.1



平成20年度耐震化工事実施校：

小学校16校(36棟)、中学校6校(20棟)の計22校。

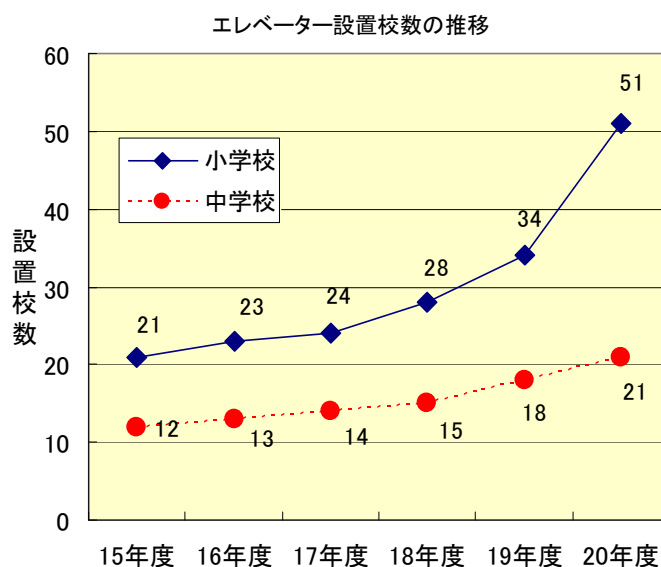
改築工事：中学校1校

平成20年度末耐震化率=78.7%

### ②小中学校のエレベーターの設置校数の推移（神戸市教委 学校整備課）

	小学校	中学校	合計
20年度	51	21	72
19年度	34	18	52
18年度	28	15	43
17年度	24	14	38
16年度	23	13	36
15年度	21	12	33

※ 20年度は計画中の数値

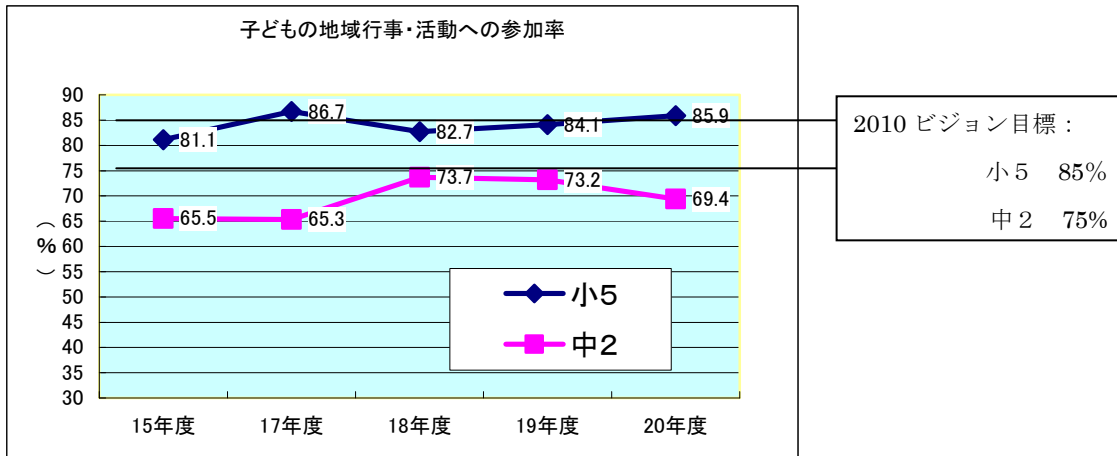


(3) 地域での子どもの育成

① 子どもたちの地域行事等への参加率の推移

(神戸市保健福祉局及び教育委員会指導課調査)

	12年度	15年度	17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (2010ビジョン)
小学校5年生	80.1%	81.1%	86.7%	82.7%	84.1%	85.9%	85%
中学校2年生	73.1%	65.5%	65.3%	73.7%	73.2%	69.4%	75%



② 地域で子どもの見守りや青少年の健全育成の手助けをしている市民の割合

(神戸市企画調整局調査「神戸市民一万人アンケート」)

16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (2010ビジョン)
19.3%	12.3%	13.4%	14.0%	15.7%	30%

